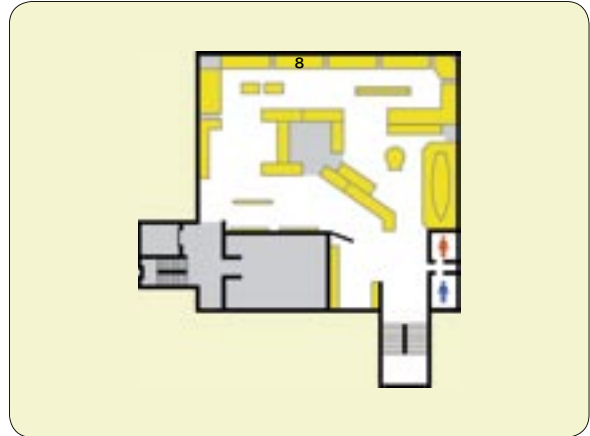


## 8 道具の歴史



### ● 道具の歴史

道具の歴史は人類の出現とともに始まりま  
す。旧石器時代の道具は自然の礫を打ち欠いて  
作った打製石斧ですが、次第に石器を磨いて  
作った磨製石斧が登場します。また、黒曜石な  
どの鋭利な剥片を利用するために石材が使われ  
ました。その後、今から1万2千年前頃に粘  
土を焼いた縄文土器が作られます。採集・狩猟・  
漁労を基盤とする縄文時代は、道具の素材とし  
て石が主に使われます。縄文晩期になると大陸  
から水田耕作が伝播し、次の弥生時代には本格  
的な水田農耕が発達し、米作りのために多くの  
木製品の道具が生まれます。一部、戦いの道具  
やまつりの道具として金属器が生まれます。古  
墳時代以降になると、金属製品が普及し、用途  
にあった道具が出現します。

最初の一つで多くの機能をもつ道具として出  
発した物が、次第に細分化されていく様子を道  
具の歴史から知ることができます。道具の歴史  
はその時代の社会を反映しており、まさに時代  
の生き証人と言えます。私たちの道具の母体は  
縄文時代に作られたと言っても過言ではありま  
せん。



磨製石斧・石匙・石鏃



磨製石斧・磨製石鏃



鑿（のみ）・刀子・鉄鏃・鑿（たがね）・鉄斧



有孔磨製石剣

### ● 有孔磨製石剣

左の写真は海老名市から出土した石剣です。  
このタイプの物は長野県に多く、弥生時代中期  
の土器にともなうことが多いようです。武器と  
して使うよりも、儀器・祭器としての性格が考  
えられています。